

令和5年10月から消費税のインボイス（適格請求書）制度が開始します。

※「インボイス」とは売手が買手にたいして正確な適用税率や消費税額等を伝えるもので、今までの請求書等に「登録番号」、「適用税率」及び「税率ごとに区分した消費税額等」の記載が追加されたものです。

ところで、インボイス制度って何？と、なる方も多いのではないのでしょうか。

売手であるインボイス発行業者は、買手になる取引相手（課税事業者）から求められたときはインボイスを交付しなければならず、交付したインボイスの写しの保存も必要になります。また、買手は仕入税額控除の適用を受けるために取引相手（売手）であるインボイス発行業者から交付を受けたインボイスの保存が必要になります。これをインボイス制度といい、このようなルールが令和5年10月から始まります。

そして、インボイスを発行できるのは課税事業者のみ、発行のためには登録が必要となります。

「うちは免税事業者で、消費税は関係ないからインボイスは発行しなくていいんですね～」と思った方ちょっとまってください☒

消費税の仕組みを簡単に説明すると、課税事業者は売り上げたときに預かった消費税から仕入や経費に支払った消費税を控除して残りの額を納税します。

売上・商品 🍌	仕入・材料 🍌	(インボイスあり)
税100円	税80円	=税20円(納税額)

ところがインボイス制度では仕入として控除できるのはインボイスが発行された取引のみ（原則）となります。

売上・商品 🍌	仕入・材料 🍌	(インボイスなし)
税100円	税80円	=税100円(納税額)・・・

つまり、インボイスがないと仕入控除できないので納税額が増えることとなります。となると、買手である取引相手（課税事業者）から「インボイスを発行してほしいのですが・・・」なんて話があるかも、なんです。免税事業者の方がインボイスを発行するには届け出して課税事業者になり、インボイス発行業者登録をすることとなります。（そして課税事業者になるということは消費税を納めるということになりますね👉）

お取引先に対してインボイスの発行が必要になるかどうか、一度ご検討してみてくださいね。

詳しい内容は国税庁HPで。

インボイス発行業者の登録は**令和5年3月31日まで**です。現在、課税事業者でまだ登録がお済でない方は早めのお手続きをお願いいたします。令和4年分確定申告の際にもお手続きいただけます。

令和4年分確定申告相談会日程表 朝日村商工会・朝日村青色申告会

月日	曜日	内容
(令和5年)		還付申告随時受付
2/16	木	確定申告受付開始
2/24	金	税理士による個別相談会(10~16時 朝日村商工会館) 無料・要予約
3/6	月	税理士による個別相談会(10~16時 朝日村商工会館) 無料・要予約
3/14	火	確定申告相談受付終了
3/15	水	所得税確定申告期限(所得税納付期限)
3/31	金	消費税確定申告期限(消費税納付期限)

商工あさひニュース



地域振興や会員事業所の成長・発展に注力いたします。年頭挨拶 商工会長 上石 保之



新年、明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、希望を持って新しい年をお迎えになられたことと、お慶び申し上げます。日頃は商工会の事業につきまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、昨年も新型コロナウイルス感染症に振り回される一年でした。春には季節性インフルエンザなどと同日「五類」へ引き下げる案も検討されておりますが、相変わらず感染拡大は予断を許さ

ない状態が続いていままです。最近の経済情勢はウクライナ情勢や円安基調による物価の高騰が経済に与える影響は大きく、経営者の皆様にとってもまだまだ厳しい状況が続きます。しかし、全国旅行支援の延長で旅行需要回復による経済効果など明るい兆しも見えてまいりました。このような中、商工会では各種補助金の申請支援や村の商品券の回収等支援を行っています。また、九月に「朝日村大博覧会」を地域の皆様に協力いただき三年ぶりに盛大に開催することができました。大博覧会では侵攻に苦しむウクライナ支援として、戦災孤児のための寄付を集めました。集まった寄付金は、十一月にウ

クライナの孤児を支援する団体に送金したとウクライナ文化協会から報告を受けました。ご支援いただきありがとうございます。また、その他、会員親睦事業として、視察研修を実施し、大勢の会員の皆様にご参加いただきました。感染症の影響が心配されましたが、何事もなく無事に実施することができました。経営発達支援計画事業では、木工製品展示会の開催、木工製品の宣伝や大博覧会への飲食店出店支援を行いました。事業継続力強化支援計画では防災セミナーを実施しました。

DX活用ではスマホ教室や電子決済、マイナビント活用に関する研修会を実施しました。従来の活動として、各部会、各部で地域への奉仕活動も盛んに行っていました。青年部の道路清掃、女性部、法人部、商業部会、工業部会等それぞれ社会貢献活動を実施致しました。今後関係機関との連携のもと、地域振興や会員事業所の成長・発展に注力したいと思っております。終息が見えない感染症に翻弄されながらも、事業者の皆様は精一杯頑張っていることと存じます。



新春を迎えて

朝日村長 小林弘幸

商工会員のさらなる飛躍を祈って



新年、おめでとうございます。

令和5年の新春を迎え、商工会員の皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えになられた事と思います。

日頃は、村政に対しましてご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染の波が幾度となく押し寄せ、コロナも第8波となり、コロナワクチン接種も4回目、5回目の接種が行われました。その様な状況下、Withコロナ社会に向け商工業や経済活動も幾分戻り、また各種行事も再開されました。中でも昨年8月には3年ぶりに鉢盛山登山マラソン大会、9月には朝日村大博覧会が開催され、盛大に出来ましたことに感謝申し上げます。

しかし、世界情勢をみると2月に突如としてロシアによるウクライナ侵攻が始まり、終わりの見えない戦争が続いています。また、中国の権威主義やゼロコロナ政策、北朝鮮の度重なるミサイル発射も東アジアの不安定さに拍車を掛けています。結果、世界的な原油価格の高騰や工業製品・肥料・穀物等の流通の混乱を招き、円安基調の中で各種資材から食料に至るまで物価高となり、我々の生活に重く申し掛かっています。

そこで、村では家計や商工事業者への支援策として、5月と7月に1人につき各10,000円

の「地域活性化商品券」及び「原油価格・物価高騰対応商品券」を全村民に配付しました。

また、11月には冬期間の燃料費等の一部を補助する支援策として、全村民に1人につき3,000円の「物価高騰対応燃料等商品券」を配付しましたので、ご活用いただきますようお願い申し上げます。

村政につきましては、「明るく・楽しく・静かに暮らせる村創り」を実現するため、「朝日村第6次総合計画」を柱に各種事業に取り組むと共に、商工業では後継者や跡継ぎ確保のための支援拡充施策などについて検討してまいります。

結びに、ここ3年、一番大切な村民の皆さんとコミュニケーションの場が作れませんでした。

今年は多くの皆さんと懇談の場を増やし、村民の皆さんと共に将来の朝日村像を上げたいと思います。今年卯年です。災害の無い、安心した暮らしと更なる飛躍・向上が図れる事と併せて、会員皆様並びに商工会にとりまして、すばらしい年となりますよう心からご祈念を申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

本年も職員共々、宜しくお願いします。

今年もよろしくお祈りします



朝日村商工会

- 会長 上石 保之
- 副会長 高橋 廣美
- 副会長 小林 治見
- 他 役職員一同

朝日村大博覧会VI

9月24日(土) 緑のコロシアム

朝日村大博覧会VIが盛大に開催されました。

前日の準備は大雨で大変苦労しましたが、当日は雨も上がり、曇り空の中ではありませんでしたが、雨に降られることなくイベントを終了することができました。

当日は12店舗が出店、9組のグループによるステージ発表で会場を盛り上げていただきました。今回の大博覧会ではボルシチ祭りを同時開催し、長期化するウクライナ問題への支援にも取り組みました。

ウクライナで親を亡くした子供たちへの支援として、9月から村内で関係団体にご協力をいただき募金を集めました。また、当日のボルシチ祭りで販売したボルシチの売上金と会場で実施した募金活動により、総額484,275円の寄付が集まりました。11月中旬に全額、ウクライナの戦争孤児を支援する団体に送金したと、ウクライナ文化協会より報告をいただきました。

新型コロナウイルス感染症の制限がある中での開催となりましたが、延べ1,000人程の方が来場し、楽しんでいただけたと思います。

引き続き、朝日村を盛り上げるため協力していきたいと思っています。



視察研修旅行 富山県への旅

11月20日～21日の2日間、視察研修旅行を実施しました。

当初30名を超える参加予定でしたが、新型コロナウイルスが増加している時期だったため、残念ながらキャンセルになってしまった方もおられ、26名の方にご参加いただきました。

感染症対策に気を付けながらの実施になったため、バスの中ではあまり盛り上げられる状況ではありませんでしたが、何事もなく無事に開催できました。

1日目はあいにくの雨でしたが、かまぼこ工場の見学やYKKセンターパークの見学に行きました。その後、金太郎温泉に宿泊しましたが、全国旅行支援の効果もあるのか、大勢のお客様が宿泊されており、若干ではありますが景気回復を肌で感じました。



2日目は、心配されたお天気も晴天に恵まれ、穏やかな波の中での富山湾クルージングを楽しみました。

富山県の旅は、和気あいあいとした雰囲気の中、美味しい海の幸を堪能しました。久しぶりの開催となり、一緒に楽しい時間を過ごすことができ良かったです。

商工会 掲示板

新しい仲間の紹介

事業所名	地区	業種	加入部会
TMコンサルタント 大槻 知成	古見1	経営コンサルタント	商業部会
とぎのぱん 信時 郁美	西洗馬2	パン製造販売	商業部会

(令和4年度6月加入から入会順・敬称略)

商工会員様限定

《お知らせ》

「商工会員物価高騰対策商品券」の発行について

昨今、物価の高騰が続いています。経営にお役立ていただきたく商工会事業として、商品券の発行を実施します。

今年度は原油高騰も続いているため、JA松本ハイランド農業協同組合様にもご協力をいただき、給油等にも利用できます。

また、会員の相互協力にもなれば幸いです。皆様のご協力をお願い申し上げます。

使用期限：令和5年1月14日（土）～ 令和5年3月20日（月）
※換金は随時受け付け中、印鑑をお持ち下さい。



使用できるお店：商工会員すべての事業所とJA松本ハイランド（ガソリンスタンド）

事業者向け講習会

今年度は8月にスマホ教室、電子決済、マイナポイントの取得と活用方法について、DX活用研修を開催しました。

そもそもDXって何？

「データとデジタル技術を活用することで企業を変革する。変革することで価値を創出し、競争上の優位性を確立する」調べたところ、このように記載がありました。

まずは「デジタル技術の活用」の初級編として、スマホ教室を開催しました。非常に楽しい有意義な研修会となりました。



キャッシュレス決済等については、利用する人も増加しており、マイナポイントを活用できるよう企画しました。

9月1日の防災の日には、事業継続力強化支援事業の取り組みの1つとして、横山防災士をお招きし、災害ボランティアの経験をお話していただきました。多くの会員が参加し、熱心に耳を傾けていました。引き続き、研修会を継続していきたいと思っております。



WEBセミナー〈11月25日(金)〉

経営支援センター筑摩野グループ主催による「電子帳簿保存法の対策ポイント」についてのWEBセミナーが開催されました。電子帳簿保存法の3種類の区分についての説明やケース別での対応策の説明がありました。なるべく簡便な方法で対応できるようわかりやすい説明で有意義な研修となりました。青色申告部も研修会として参加しました。

各部の活動①

《商業部会・工業部会・法人部》

ボランティア活動 11月18日(金) 『小野沢学校坂』

商業部会・工業部会・法人部合同のボランティア実施は今年度で3回目となります。

昨年度と同じ時期に実施しましたが、今回も清沢土建（株）様、（有）清澤朝日産業様からダンプトラックを提供いただき、



延べ6台分ほどの落ち葉を片付けました。今回は総勢24名で作業を実施しました。皆さん手慣れておりスムーズに作業していただきました。

終了後は忘年会を兼ねた親睦会を実施しました。新型コロナウイルス感染症が増加傾向であったため、制限された開催となりましたが楽しい時間を過ごせました。

《法人部》

法人部では、今年度2回のボランティア作業と朝日小学校へのプロジェクター購入助成金の寄贈を実施しました。

11月には商工会商業部・工業部と合同で学校坂の落ち葉拾いを実施し、2月には、神戸方面へ部員親睦視察研修を計画しています。

◆ボランティア活動 6月28日(火)



暑い中、7名の部員に参加いただき、ピュアラインあさひから東電に上っていく道の雑種地2カ所を、刈払機で作業しました。



◆助成金寄贈 9月8日(木)

武井部長が朝日小学校を訪問し、校長先生に助成金をお渡ししました。児童への活用の機会が沢山ある事を期待しています。



各部の活動②

《女性部》

◆研修会 9月8日(木) 参加者9名

(株)東京堂クレアの斉藤さんを講師に迎え、フラワーアレンジメントの研修を行いました。コロナ禍で昨年は中止となっていたため、久しぶりの研修会となりました。講師さんにお持ちいただいた材料は全員同じものですが、配置や組み合わせ方により十人十色の個性あふれる素敵な作品に仕上がりました。



◆地域貢献活動 11月2日(水) 参加者10名 『縄文むら(熊久保遺跡)』

地域貢献活動として朝日村美術館周辺の落ち葉等の清掃を行いました。前日までの冷え込みと、一瞬ため息がもれるほどの落ち葉の量でしたが、晩秋にもかかわらずみなさんで汗だく?になりながらの作業となりました。



2時間ほどできれいに片付き、女性部パワー(作業前)を実感した活動となりました。



(作業後)

《食品衛生部》

視察研修旅行

9月8日(木) 参加者8名 「大町方面」



「天然水北アルプス信濃の森工場」『安曇野高橋節郎記念美術館』に行ってきました。

あいにくの雨でしたが、北アルプスを展望する立地でハイテクな設備の工場を見学することができました。

《青色申告部》

親睦会(新そば賞味会) 11月25日(金) 参加者15名 『商工会館』

毎年恒例となりました、青申部員「真心亭」さんの手打ちそばによる「新そば賞味会」を行いました。

うちたて、ゆでたての十割そばを、これまた真心亭さんこだわりの特製つゆにて、心ゆくまで堪能しました。



各部の活動③

《青年部》

★あさひネイチャーフェス(青年部主催)

10月2日(日) 『もくもく体験館』

子供たちへの自然教育や朝日村の可能性を感じてもらうイベントを初めて開催しました。15組の村内小学生以下のお子様と保護者が参加し楽しみました。当日は、山形村商工会青年部員の方にもお手伝いをさせていただき、とても賑やかなイベントとなりました。

《内容》

- ◆ヤマメのつかみ取り→腹出し→串さし→炭焼き
- ◆焼きおにぎり、みそ汁、焼き芋作り
- ◆布バックの藍染め
- ◆縁日コーナー…射的、ヨーヨー釣り、流木クラフトなど



自分で割箸鉄砲を作り、射的に夢中になっている少年、初めての腹だして苦戦している親子の姿がとても印象的でした。

★地域貢献活動「絆・感謝活動」

7月31日(日) 参加者7名

上針尾橋からもくもく体験館までの道路清掃を行いました。部員達は、春に製作したオリジナルロゴ入り帽子を被り、道路両側に分かれてゴミを拾いました。ゴミの量は年々減っており、綺麗な朝日村を感じながらの活動となりました。



★朝日村大博覧会VI 出店 9月24日(土)

3年ぶりの出店、「焼鳥・生ビール・ジュース」を販売しました。準備からバタバタ…不安の中スタート!そこは、さすが部員達、販売が始まれば慣れた対応で接客。部員同志の絆を感じる1日となりました。

★主張発表大会 中信地区予選会

6月15日(水) 『松本市ホテルモンタニュー』

今年度の地区予選会は、朝日村が安筑支部の代表でした。吉平さんが「青年部活動を通じて気づいた事」をテーマに、県外から移住し、地域・青年部での活動や繋がりについて主張発表しました。

